



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場会社名 焼津水産化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2812 URL http://www.yskf.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 和広  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営統括本部 (氏名) 内山 毅彦 (TEL) 054-202-6044  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 平成26年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	9,685	△4.8	546	△2.2	596	△3.1	363	△3.4
26年3月期第2四半期	10,173	△0.3	559	△7.0	615	2.3	375	8.8

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 316百万円(△54.0%) 26年3月期第2四半期 689百万円(152.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	28.17	—
26年3月期第2四半期	27.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	24,329	18,974	78.0
26年3月期	23,606	18,863	79.9

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 18,974百万円 26年3月期 18,863百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	16.00	26.00
27年3月期	—	10.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	14.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,580	3.7	1,710	39.1	1,760	33.5	1,060	15.0	82.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	13,056,198株	26年3月期	13,056,198株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	162,313株	26年3月期	162,263株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	12,893,892株	26年3月期2Q	13,450,322株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業務予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(表示方法の変更)	11
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）のわが国経済を取り巻く環境は、政府による経済対策や日本銀行による金融政策により景気回復の兆しが見られたものの、消費税増税の影響や円安による原材料価格、燃料価格等の上昇もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品業界におきましても原材料価格、燃料価格等の上昇が続くなか、消費税増税に伴う生活防衛意識や節約志向が続いており、依然として厳しい収益環境が続いております。

このような中、当社グループでは、新中期経営計画「Change & Challenge」の2年目にあたり、中期経営計画の最終目標である連結営業利益22億円を達成するために、当連結会計年度の営業利益目標17億円を全社一丸で掴み取るべく“Catch up 17 to 22”を合言葉に、自らが“変化”し、新しいことに“挑戦”していく企業風土を醸成しながら、更なる企業価値向上と持続的な成長の実現に向けた取り組みを進めております。

具体的には、i. ROE経営の指向、ii. 経営陣の刷新と執行役員制度の導入、iii. 新事業領域の開拓、iv. 新工場の稼働、v. 営業体制の抜本的改革、vi. 有力商品の開発・上市、vii. 有償ストックオプションの導入に取り組み、販売及び開発の体制を見直して既存事業を強化しつつ、新たに女性プロジェクト「YSK働く女性研究所」を立上げ化粧品「NAG+[ナグプラス]」シリーズを上市するなど、新規事業領域への展開を推進しています。また、製造面では、新掛川工場が8月28日に竣工し、生産性及び品質の向上に向けた取り組みやBCP対策を着実に進めております。これらの施策を確実に成果に結び付けるため、各部署で数値目標を設定し、その進捗管理を実施することで計画の達成に努めました。

売上高につきましては、健康食品市場の競争激化に伴う取引先の受注減少や医療栄養食におけるOEM生産の減少などにより機能食品が減少したほか、水産物の海外向け輸出の減少などにより、連結売上高は96億85百万円（前年同四半期比4億88百万円、4.8%減）となりました。利益面につきましては、各種経費削減を取り組んだものの、原材料価格、燃料価格等の上昇や減収の影響により、連結営業利益は5億46百万円（同12百万円、2.2%減）、連結経常利益は5億96百万円（同19百万円、3.1%減）、連結四半期純利益は3億63百万円（同12百万円、3.4%減）となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

#### (調味料)

調味料は、主に加工食品メーカー向けの液体調味料や粉体調味料の製造販売及び各種わさび類他香辛料の製造販売です。液体調味料がほぼ前期並みとなったものの粉体調味料の販売が低迷し、売上高は41億79百万円（前年同期比83百万円、2.0%減）、セグメント利益（営業利益）は、5億17百万円（同86百万円、14.3%減）となりました。

#### (機能食品)

機能食品は、機能性食品素材及び機能食品の製造販売及び医療栄養食のOEM製造販売ですが、健康食品市場の競争激化に伴う取引先の受注減少、医療栄養食におけるOEM生産の減少などにより、売上高は28億66百万円（同3億20百万円、10.0%減）、セグメント利益（営業利益）は2億99百万円（同33百万円、10.2%減）となりました。

#### (水産物)

水産物は、主に冷凍鮭・冷凍鯉の原料販売並びに加工製品の製造販売です。海外向け輸出が減少し、売上高は20億2百万円（同1億22百万円、5.8%減）となりました。セグメント利益（営業利益）は25百万円（同4百万円、15.5%減）となりました。

#### (その他)

その他は、その他商品の販売ですが、売上高は6億37百万円（同37百万円、6.3%増）、セグメント利益（営業利益）は38百万円（同29百万円、317.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産の総額は、前連結会計年度末に比べ7億22百万円増加し、243億29百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金が1億84百万円、原材料及び貯蔵品が1億54百万円増加した一方、現金及び預金が6億28百万円、商品及び製品が90百万円減少したことなどにより5億56百万円減少し、120億82百万円となりました。

固定資産は、新工場の完成に伴い建設仮勘定が10億23百万円減少した一方、建物及び構築物が11億47百万円、機械装置及び運搬具が11億99百万円増加したことなどにより12億79百万円増加し、122億47百万円となりました。

流動負債は、未払消費税等が63百万円減少する一方、短期借入金が5億円、支払手形及び買掛金が2億37百万円増加したことなどにより8億19百万円増加し、37億61百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が1億円、退職給付に係る負債が94百万円減少したことなどにより2億8百万円減少し、15億92百万円となりました。

純資産は利益剰余金が1億56百万円増加したことなどにより1億11百万円増加し、189億74百万円となりました。

この結果、自己資本比率は78.0%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は37億30百万円となり、前連結会計年度末比6億16百万円減少しました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、増加した資金は8億67百万円（前年同期比1億96百万円増）となりました。この内訳の主なものは、税金等調整前四半期純利益5億78百万円、減価償却費3億10百万円、仕入債務の増加2億38百万円などの増加要因に対し、売上債権の増加1億90百万円、退職給付に係る負債の減少94百万円、たな卸資産の増加56百万円などの減少要因によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、減少した資金は16億72百万円（前年同期比10億36百万円減）となりました。この内訳の主なものは、新工場の建設資金の支払いなど有形固定資産の取得による支出が16億79百万円あったことなどによるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、増加した資金は1億85百万円（前年同期比3億70百万円増）となりました。この内訳の主なものは、短期借入金5億円の増加に対し、配当金の支払額が2億5百万円あったことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月9日に発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,978,999	4,350,121
受取手形及び売掛金	4,260,203	4,445,028
商品及び製品	1,175,184	1,084,298
仕掛品	184,652	173,699
原材料及び貯蔵品	1,700,701	1,855,078
繰延税金資産	62,840	62,107
その他	283,747	120,028
貸倒引当金	△7,796	△8,321
流動資産合計	12,638,533	12,082,040
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,215,524	3,363,376
機械装置及び運搬具(純額)	1,202,717	2,402,697
土地	3,000,335	3,000,335
リース資産(純額)	45,555	42,951
建設仮勘定	1,064,668	41,000
その他(純額)	56,872	67,750
有形固定資産合計	7,585,674	8,918,112
無形固定資産		
投資その他の資産	128,080	98,402
投資有価証券	3,080,410	3,061,540
繰延税金資産	4,464	3,585
その他	177,825	174,115
貸倒引当金	△8,621	△8,571
投資その他の資産合計	3,254,079	3,230,670
固定資産合計	10,967,833	12,247,185
資産合計	23,606,367	24,329,225

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,446,900	1,684,484
短期借入金	500,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
リース債務	19,655	20,793
未払法人税等	41,430	219,869
未払消費税等	64,793	1,572
賞与引当金	120,503	169,098
役員賞与引当金	—	9,000
その他	548,775	456,851
流動負債合計	2,942,059	3,761,670
固定負債		
長期借入金	1,300,000	1,200,000
リース債務	30,812	26,241
繰延税金負債	338,903	330,403
退職給付に係る負債	117,561	22,598
長期未払金	13,434	13,434
固定負債合計	1,800,712	1,592,678
負債合計	4,742,771	5,354,349
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,617,642	3,617,642
資本剰余金	3,414,133	3,414,133
利益剰余金	11,143,860	11,300,831
自己株式	△135,023	△135,069
株主資本合計	18,040,613	18,197,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	725,775	711,768
為替換算調整勘定	97,207	64,712
その他の包括利益累計額合計	822,983	776,481
新株予約権	—	856
純資産合計	18,863,596	18,974,875
負債純資産合計	23,606,367	24,329,225



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	10,173,822	9,685,665
売上原価	7,909,945	7,579,539
売上総利益	2,263,876	2,106,126
販売費及び一般管理費	1,704,599	1,559,184
営業利益	559,277	546,941
営業外収益		
受取利息	3,004	2,721
受取配当金	30,618	34,039
受取賃貸料	7,991	658
為替差益	21,278	2,264
その他	23,029	22,362
営業外収益合計	85,921	62,045
営業外費用		
支払利息	56	1,772
たな卸資産廃棄損	7,524	3,953
保険解約損	16,157	—
その他	6,046	6,885
営業外費用合計	29,784	12,611
経常利益	615,414	596,376
特別利益		
固定資産売却益	—	429
投資有価証券売却益	7,825	—
特別利益合計	7,825	429
特別損失		
固定資産除却損	11,815	120
損害賠償金	—	16,969
会員権売却損	—	781
特別損失合計	11,815	17,872
税金等調整前四半期純利益	611,424	578,933
法人税等	235,454	215,660
少数株主損益調整前四半期純利益	375,970	363,273
四半期純利益	375,970	363,273

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	375,970	363,273
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	242,330	△14,006
為替換算調整勘定	70,812	△32,494
その他の包括利益合計	313,143	△46,501
四半期包括利益	689,113	316,772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	689,113	316,772
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	611,424	578,933
減価償却費	310,323	310,198
のれん償却額	637	764
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△41,320	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△94,962
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,238	475
賞与引当金の増減額(△は減少)	63,910	48,595
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	10,000	9,000
受取利息及び受取配当金	△33,622	△36,760
支払利息	56	1,772
為替差損益(△は益)	2,610	△3,239
有形固定資産除却損	11,815	120
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△429
投資有価証券売却損益(△は益)	△7,825	-
会員権売却損益(△は益)	-	781
損害賠償損失	-	16,969
売上債権の増減額(△は増加)	571,899	△190,285
たな卸資産の増減額(△は増加)	△428,623	△56,785
その他の流動資産の増減額(△は増加)	47,487	△27,650
その他の固定資産の増減額(△は増加)	96,461	1,815
仕入債務の増減額(△は減少)	△134,613	238,051
未払消費税等の増減額(△は減少)	△20,462	△67,229
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△91,874	△35,799
その他	△19,740	1,712
小計	943,304	696,048
利息及び配当金の受取額	33,628	36,760
利息の支払額	△56	△1,908
法人税等の支払額	△324,381	△37,778
法人税等の還付額	17,995	190,992
損害賠償金の支払額	-	△16,969
営業活動によるキャッシュ・フロー	670,490	867,144
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△644,781	△446,781
定期預金の払戻による収入	663,932	458,781
有形固定資産の取得による支出	△719,211	△1,679,844
有形固定資産の売却による収入	-	975
無形固定資産の取得による支出	△12,511	△3,320
投資有価証券の取得による支出	△2,696	△2,758
投資有価証券の売却による収入	79,314	-
会員権の売却による収入	-	818
その他	279	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△635,674	△1,672,129

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	500,000
長期借入金の返済による支出	-	△100,000
自己株式の取得による支出	△205	△45
新株予約権の発行による収入	-	856
配当金の支払額	△174,386	△205,448
リース債務の返済による支出	△9,992	△9,459
財務活動によるキャッシュ・フロー	△184,584	185,902
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,224	2,203
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△140,545	△616,878
現金及び現金同等物の期首残高	2,379,597	4,347,218
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,239,052	3,730,339

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

四半期連結貸借対照表

前連結会計年度において「商品及び製品」に含めていた一部たな卸資産について、計上科目の見直しを行い、第1四半期連結累計期間より「仕掛品」へ表示方法の変更を行っております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「商品及び製品」として表示していた1,359,837千円は、「商品及び製品」1,175,184千円、「仕掛品」184,652千円として組替えております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	4,263,074	3,186,606	2,124,675	9,574,356	599,465	10,173,822	—	10,173,822
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	4,480	4,480	—	4,480	(4,480)	—
計	4,263,074	3,186,606	2,129,156	9,578,837	599,465	10,178,302	(4,480)	10,173,822
セグメント利益	604,274	333,412	30,542	968,230	9,157	977,387	(418,109)	559,277

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品であります。  
 2. セグメント利益の調整額418,109千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	4,179,875	2,866,468	2,002,201	9,048,545	637,119	9,685,665	—	9,685,665
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	7,661	7,661	—	7,661	(7,661)	—
計	4,179,875	2,866,468	2,009,862	9,056,206	637,119	9,693,326	(7,661)	9,685,665
セグメント利益	517,996	299,502	25,822	843,321	38,234	881,555	(334,613)	546,941

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品であります。  
 2. セグメント利益の調整額334,613千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。